

徳富ダム（樺戸郡新十津川町字トッポ）

<施設全景>



<位置図>



地図の出典元：国土地理院

<施設概要>

徳富ダムは洪水を調節し、ダム下流域の水害を防除するとともに、樺戸地区の耕地にかんがい用水、新十津川町・雨竜町・浦臼町に水道用水を供給することを目的とし、平成25年に完成したダムです。

<<みどころなど>>

徳富ダムは農業（北海道開発局）、治水（北海道）、水道（水道企業団）の共同ダムとして建設された道内でもめずらしい多目的ダムです。北海道が管理するダムの中では堤高が高く、監査廊の階段は地の底まで続くような怖さがありますが帰りはエレベーターで堤頂まで戻ることが出来ます。また、徳富ダムではピンネシリなどの山々や秋には紅葉も眺められます。

<諸元>

形式：重力式コンクリートダム(G)
堤頂長：309m、堤高：78.4m
湛水面積：1.59km²、総貯水容量等：36,000,000m³

<見学可能人数>

1回当たり30名

<見学箇所>

堤頂、監査廊

<アクセス>

道央道滝川ICより、車で約1時間

<見学所要時間>

約1時間(応相談)

<その他施設>

駐車場：大型バス駐車可能

<周辺の観光情報>

- ・温泉、キャンプ場、パークゴルフ場などの施設が集約された「ふるさと公園」があります。
- ・お土産を購入するなら、くじらのモチーフが特徴的な物産館がおすすめです。

<注意事項>

- ・小学校低学年以下の参加は不可としますが、エレベーターでの見学は可能です
- ・施設周辺にトイレ無し（管理棟内のトイレは利用出来ません）
- ・**新型コロナウイルス感染症対策を実施する必要がある場合は、監査廊などのダム内部を除く見学とします。**

